

【 天国への手紙

2023年3月4日放送分】

社長へ

ラジオネーム：たかし

社長、お世話になりました。

社長の訃報を聞き、何を聞いても伺いたかったのですが、すでに荼毘に付され、すべて終わってからのお知らせ。

このご時世、社長らしい心遣いだと思いました。

僕が社会人として最初にお世話になりましたが、最初の訓示に驚きました。「僕は、あなた達をこの会社に縛るつもりは全くありません。自分のステップアップとして利用してください。人生は長い。やりたいうことが変わる瞬間など当たり前です。でも、いじりいる間は一生懸命仕事に取り組んでください。一生懸命とはむじりうじりうじりなのかわらなければ、何をやってもうまくいきません。みんなで一生懸命仕事に取り組みましよう。「こんな内容だったと思います。

自分なりに一生懸命やりました。そして、10年後、僕は会社を去る決意をしました。その時、僕が社長の最初の言葉を守ってきたつもりだと言った時、社長は笑いながら「見ていれば分かる。だから君には

感謝しかないよ。次の職場でも、一生懸命やりなさい。そして、一生懸命やっている人を、ちゃんと見てあげなさい。そういう立場になっただから。」

今、思い出しても泣けてきます。今では多くの部下を持つ立場になりました。

【実るほど頭うぶを垂れる稲穂かな】

今に時代にとても大切な言葉だと思えます。

社長は、30年以上前に、その精神を持っていらっしゃったと思えます。これからも教えを守り、謙虚に一生懸命仕事に取り組んでいこうと思えます。

社長は浪花節なところがりましたが、意外と洋楽が好きでしたね。この曲を聴くと、社長の顔を思い出します。

リクエスト曲

() マイ・ラブ / ポール・マッカートニー&ウィングス ()